

## JFMA公共インフラマネジメント連続シンポジウム概略報告（1/2）

第1回	開催日	平成30年9月15日（土）	
	テーマ	市民協働の公共インフラメンテナンスとは	
	コーディネーター	鈴木 泉氏 SLIM Japan副理事長	「インフラメンテナンスの分野に市民協働をどう進めれば良いか」
	基調講演	蟲明眞一郎氏 SLIM Japan理事, (株) 環境創造	<p style="text-align: center;"><b>「住民主体の街づくり」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちづくり」は地域社会づくり、「街づくり」は都市基盤施設づくりと分けて使うことが大事</li> <li>・住民主体で考え、白紙から始めて住民の手で運営する、合意形成手法としての幾つかの成功ポイントを強調</li> </ul>
	パネルディスカッション	世古一穂氏 NPO研修・情報センター代表理事	気仙沼の街づくりの成功事例の紹介、「市民参加の街づくり」から「震災復興の街づくり」に変わり、街づくりコーディネーターを育成
		小林達也氏 長野NPOセンター	長野市の自治協議会のワークショップに予算をつけ市民の意見を徴収の結果紹介
		田中裕子氏 IM国民会議、大日本印刷（株）	国民会議に自社自術をインフラの老朽化に役立てたいため異業種参画し、イベント開催などに取組み
シンポジウム参加者数、主な意見	30名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって市民を振り向かせたら良いか</li> <li>・自治会活動は盛んだが、もっと行政との接点が必要</li> <li>・建設・点検に携わってきたが市民協働を考えたことが無かった</li> </ul>	
主 な 成 果		参加者全員で本音の意見交換が出来た	
第2回	開催日	平成30年10月20日（土）	
	テーマ	地方の公共インフラの現状と課題	
	コーディネーター	鈴木 泉氏 SLIM Japan副理事長	「インフラ維持管理の現状は、何が問題か。そして好ましい状態を考えてみよう」
	基調講演	山中鷹志氏 SLIM Japan理事、前海洋架橋・橋梁調査会	<p style="text-align: center;"><b>「徒歩で川を遡行し橋の現況を診る」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職後健康のため河川ウォーキングしつつ独自の視点から橋の現況調査を実施</li> <li>・約10年間の調査実績から地域インフラの現況を紹介</li> <li>・5年毎の橋の近接目視点検の必要性を疑問に感じる</li> </ul>
	パネルディスカッション	中谷孔右氏 静岡県、田子の浦港湾事務所長	静岡県の予算推移、管理体制の状況、道路予算に占める維持補修費の増大、人口少の市町村の技術者不足、デスクワークに追われ現場を知らない若手技術者など課題
		澤 健男氏 前国土交通省	自然災害リスクの増大で本来の維持管理費が少なく、予防保全に影響が、メンテには費用が掛かることを社会が認知する努力が足りない
		山崎エリナ氏 世界を旅する写真家	写真家として、インフラを支える仕事と人を多くの市民、特に若者に強く伝えたく写真展を開催した
シンポジウム参加者数、主な意見	30名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現予算、目指すべき予算がいくらなのか表にでてこない</li> <li>・世論形成、情報開示が足りない</li> <li>・市民への丁寧な説明があれば理解する素地はできていると感じる</li> </ul>	
主 な 成 果		地方の土木インフラの現状をいろいろな視点で前線の本音を知り議論、望ましい状態を共有できたことに大きな意味があった	